

# 社会調査法 社会福祉調査法

第4回  
2016年4月27日

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## それぞれの調査の長所と短所

1. 調査コスト
  1. 郵送費
2. 調査員の確保
  1. 調査員の技量
3. 調査期間
  1. コーディング作業
4. 調査対象
  1. 調査協力の得やすさ
5. 回収率

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## 企画・設計(pp.32-33)

1. 調査課題を設定する
  1. PDCAサイクル
2. 調査対象者を設定する
  1. 調査対象者のリストがあるかどうか
3. 調査(実査)方法を検討する
  1. 長所・短所の検討
4. アンケート項目を決める
5. 分析方法を決める

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## PDCAサイクル



• Plan-計画 Do-実行 Check-検証 Action-改善

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## 調査対象者の定義(pp.36-37)

- 誰を選ぶか
  - 例) 都心部回遊行動調査
    - 来街者ベース: 商店街に訪れた人
      - 訪れた人しかサンプルにならない
    - 居住地ベース: 居住者
      - 郵送費が膨大・回収率が低い

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## 調査方法の検討(pp.38-39)

1. 対象者リストの有無
2. 回収率を考慮する
3. 調査内容の量と質の両面を考える
4. 調査地域を考える
5. 調査期間を検討する
6. 調査費用を検討する
7. そのほかの検討ポイント

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## 回遊行動調査の例

1. 対象者リストの有無
  1. 商店街に来た人 / 居住者
2. 回収率を考慮する
  1. 直接依頼 / 郵送
3. 調査内容の量と質の両面を考える
4. 調査地域を考える
  1. 商店街 / 大分県?
5. 調査期間を検討する
  1. 学生が参加できる日、イベントがない日など
6. 調査費用を検討する
  1. アルバイト代、コーディング費用、郵送費

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

## アンケート項目 (pp.40-41)

1. 調査課題
2. 調査項目
3. アンケート項目
4. 詳細さの程度
5. **因果関係の仮説検証**
6. **解析手法**

© Department of Business and Economics,  
School of Business and Economics, Nippon Bunri University

1. 企画設定
2. アンケート票作成
3. サンプルング
4. 実査
5. 回収票整理(アフターコーディング)
6. 集計
7. 分析
8. 報告書作成

1. 調査経費の計算
  1. 人件費・印刷費
2. 標本数(サンプル数)の目標
  1. P.47の表を参照
3. 回収率を高める工夫